

深圳レポート

2020年の中国のオンライン教育業界の市場状況と発展見通しを分析 中国のオンライン教育業界の市場規模は、 まだまだ多くの伸びしろを秘めている。

ポイント：

- 中国オンライン教育市場の急速な発展
- ビッグデータの活用により、教育メソッドの的確性が向上
- オンライン教育のボトルネックは？

参照サイトURL：

<https://bg.qianzhan.com/report/detail/300/200311-cbb5c6e6.html>

中国オンライン教育の急速な発展

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、小・中・高校の始業が延期となり、オフライン教育は中断されている状態だ。オンライン教育のニーズは急速に増加し、各サービスのスタイル、新しい技術や業態が次々と登場し、ユーザーの消費体験 (UX) に変化が現れている。

最近、中国インターネット協会が発表した「インターネット産業の発展に対する新型コロナウイルス感染拡大の影響」の研究結果によると、疫病流行の中で新しい消費習慣も生まれており、オンライン産業チェーンは再開発の機会をもらい、特に教育分野では急速に市場が拡大していることを示している。

疫病流行の期間中、普段インターネットに触れていない多くの潜在的なユーザーがオンライン教育を試しに始めたことで、普及率と顧客獲得効率が改善されたのである。

「百度 (Baidu)」の検索ビッグデータによると、キーワード「オンライン

教育」の検索インデックスは、1月17日の300回から2月10日には5,000回近くまで増加した。

「QuestMobile」の調査データによると、教育および学習アプリの1日のアクティブユーザーの数は、通常の8,700万人から1億2,700万人となり、46%も増加した。このうち基礎教育(kindergarten through twelfth grade)の1日のアクティブユーザー数は2,300万人余り増加している。

関連機関のデータによると、2019年に中国のオンライン教育市場の規模は3133.6億元 (約4兆8千万円) に達し、前年比で24.5%増加すると予想されている。

宿題系と単語系のアプリは依然としてユーザーの間で最も人気があり、この2種類は、ほとんどのユーザーが使用するサービスとなっている。

2012-2022年中国在线教育行业市场规模统计及增长情况预测



资料来源：前瞻产业研究院整理

@前瞻经济学人APP

▲2012年～2020年

中国のオンライン教育市場規模の統計と将来成長予測
出典：前瞻産業研究院

中国には約1億8,000万人の小中学生がいるが、オンライン教育に対する人々の認知が深まるにつれて、消費者の規模は今後も拡大し続けるため、この業界としての見通しは明るいと言われている。

オンライン教育の消費体験

現在、オンライン教育には、個人のライブでのブロードキャスト、録画された講座、MOOC(Massive Open Online Course)講義、教室専用のライブブロードキャストなど、多くの方法が存在する。

一部の企業では、体験プログラムを用意し、ユーザーが無料体験できるコースを用意している。また一部の企業では、人工知能をオンライン教育に搭載しており、オフライン学習の体験と同じような、パーソナライズされた評価のフィードバックを提供することに必要な役割を果たしてきたのである。

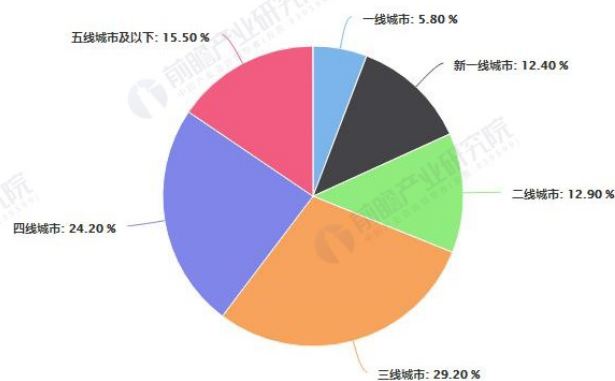
疫病流行の期間中、多くのオンライン教育機関が無料の公益授業を開始し、多くの人に利用されていた。1月29日、「Youdao」は全国の小中学生を対象に無料でのブロードキャストコースを開始し、名門学校の教師がオンラインで、重要かつ難しい内容を教えた。杭州銘師堂教育連合では、湖北省の中学生向けに「暖春行動」という心理的な公益活動や、心理をテーマとした授業などのサービスを提供した。

「開課啦(本社:杭州)」は全国ユーザーに中学校のオープンカリキュラムを提供した。高校生を対象とした「升学e网通(本社:杭州)」は全国数千余りの高校にネット授業のコンテンツと技術支援を提供している。「粉笔網(本社:北京)」は、高校生に約1500回のプロテスト授業を提供した。

オンライン教育の新規ユーザーの多くは地方からだった

調査データによると、オンライン教育の新しいユーザーの大部分は、ローカル市場(三級及びそれ以下の都市、県、鎮、農村地域)からとなっている。今年の春節後、オンライン教育および学習アプリの新規ユーザーのうち、三級、四級、五級、および下位の都市の割合は、それぞれ29.2%、24.2%、15.5%で、都市間分布の上位3位にランクされ、合計で約70%を占めており、通常よりも約10パーセント高くなっている状況だ。

2020年中国春節後在线教育APP新增用户城市分布情况



资料来源：前瞻产业研究院整理

© 前瞻经济学人APP

▲2020年の春節後、
オンライン教育学習アプリの新規ユーザー都市の分布状況
出典：前瞻産業研究院

ビッグデータの活用により、教育メソッドの的確性が向上

エドテックのサービスを提供することによって、蓄積された膨大な量のビッグデータを教師にフィードバックし、カリキュラムと学習設計を提供することができる。

ビッグデータを活用して、リソースを分類およびラベル付けし、学生の学習プロセスと学習行動の多次元分析を実施し、各ユーザーのパーソナライズされた学習プランを生成することで、オンライン教育のメソッドの精度を上げ、より効果的なものになってきている。

ビッグデータは、さまざまな学期や学科の学習状況に注意を払い、教育計画をタイムリーに更新することで、より科学的で体系的なカリキュラムシステムを立ち上げて、学習する対象を絞り込むことができる。

オンライン教育のボトルネックは？

オンライン教育の市場は伸びているが、バックエンドサーバの安定性、ネットワーク帯域のサイズ、サービスレベル、料金が妥当かどうかなど、多くの課題に直面しており、これらはすべて業界の発展に直接影響している。

オンライン教育では、基盤となる教師、保証された技術の両者が不可欠である。一方で、オンライン教育機関は技術投資を継続的に増やし、インタラクティブな体験を革新する必要があるが、教師の供給を最適化し、講師の授業レベルを向上させ、教育の質を確保するよう努めなければならないのである。

オンライン教育が認められるかどうかの鍵は、学習効率を改善することがポイントとなる。企業は人工知能とビッグデータのテクノロジーをサービスに組み込み、ユーザーが個別の学習カリキュラムを組み、学習効率を向上させ、学習体験を向上させるよう努めている。

品質に注意を払い、すべてのユーザーに優れたオンライン学習体験を提供することによってのみ、顧客を維持できるのである。

オンライン教育は、将来的には「質」の向上が課題

新型コロナウイルスの影響で、各地の小・中・高校が「休校・不停学」となり、オンライン教育での活動を実施した。オンライン教育自体が基本的に認められることになったが、ネットワーク環境、組織づくり、教師と学生の相互作用など、いくつかの面でまだ改善の余地がある。

農村地域でのオンライン教育は依然として困難な状況となっている。オンライン教育では、家族がインターネット環境を持っているかどうか、また、端末やコンピューター、他の機器があるかどうか重要な要因となる。都市と比較して、農村部の家庭ではコンピューターの所有率が低く、特に中部および西部地域の農村家庭にとっては依然として導入が難しいという状況だ。

将来的に、オンライン教育が質の高い発展を進めるためには、教師、技術、サービスなど、様々な面での企業努力が必要である。

既存の「食」の常識を壊す、未来の肉

社名	深圳市星期零食品科技有限公司		英語名	Starfield Co. Ltd.	
代表者	呉雁姿		URL	www.starfieldcn.com	
所在地	広東省深圳市南山区沙河街道高発社区僑香路 4060 号香年広場 A 棟 1303A				
売上 (RMB)	N/A	従業員 (人)	50 以下	創業年	2017.05.16
資本金 (RMB)	100 万 (約 1500 万円)				
サービス内容	植物由来の人工肉の研究開発、生産、販売				



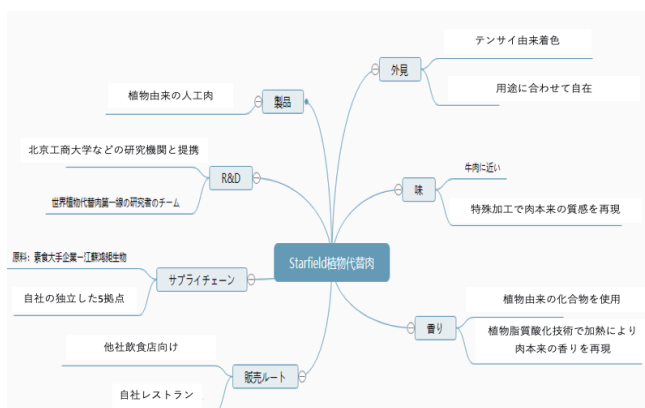
世界的食糧危機に直面しつつある現在、注目されている人工肉の研究開発を行っている。その理由として人工肉は本物の肉と比べ、89%の温室効果ガスの排出量を削減することができ、さらに87%の生産用水と土地を節約できる。

開発:同社は植物由来の人工肉の開発販売を行っている。
製造方法としてはまず豆のタンパク質を抽出して、加熱、圧縮、冷却、成形などステップを通して、本物の肉と同じ構造にするために、繊維状にする。そこにフレーバーを加え、肉本来の味付けを行う。

販売:本物のお肉より高いため、B向け事業をメインで展開している。北京、上海、深圳では人工肉の使用したケータリングサービスを提供。紅荔村、Tomacado、Sizzler、Element Freshなどチェーン店で販売を始めている。

自社レストラン:2018年10月に、創業チームが深圳で“青苔行星”というベジタリアンレストランの運営を開始。テスト販売した人工肉ハンバーガーはたちまち人気となり、同社の売り上げの60%以上を占めた。現在でもレストランは常に深圳ベジタリアンレストランのランキングのトップをキープしている。

■業界ポジション:中国内で業界最高の資金調達を完了、唯一自社生産基地持ちの人工肉スタートアップ



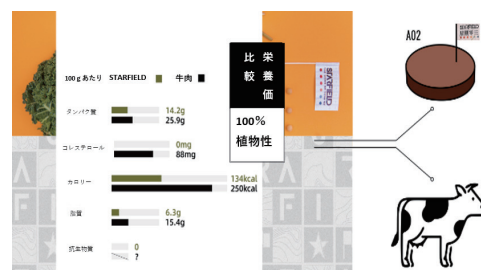
同社は中国で唯一自社開発能力と生産拠点を持つ人工肉スタートアップで、5つの生産ラインで年産量最低2万トン達している。自社で食品風味加工の専門家チームを有し、リーダーであり博士でもある李氏はGFI (Good Food Institute:アメリカに拠点を持つNPO。植物性食品の促進を目指す団体) 植物代替肉部門と培養肉部門を担当している。

北京工商大学、江南大学、深圳大学など代替肉業界の先頭に立つ研究機関と提携し、製品の研究開発に技術支援を得ている。

人工香料や人工色素などは使用せず、植物脂質酸化技術を用いた手法を独自開発し肉本来の香り再現、これは世界初。

また海藻から親糖タンパク質を抽出する方法は特許を取得している。実績:

- ・2019年人気ミルクティーのブランド「奈雪の茶」の旗艦店にて三種類のハンバーガーを試販し、一時間で売り切れた
- ・2019年12月、有名食品ブランドやレストランと中国で初めてとなる植物代替食品展示会“未来停泊站”を開催した
- ・2020年3月12日、アメリカのNew Crop Capital、MatrixPartners Chinaなど有名なベンチャーキャピタルから数千万元(約数億円)の資金調達を達成
- ・2020年4月、アメリカ上場企業Papa John's pizzaと「中国初の未来ピザ」や中国のちまき専門店諸老大とコラボ製品を発売する



▲STARFIELDの植物代替肉と牛肉の栄養価比較



▲奈雪の茶の植物ハンバーガー



▲植物肉担々麺



▲植物肉のミートボール

変わる生活スタイル、 求められる「スローライフ」



時の流れは早いものだ。

春節休暇(1月)の寒さの中始まった新型コロナウイルス流行も、労働節休暇(5月)には落ち着いてきており、ここ深圳はあっという間に蒸し暑い初夏に突入した。

毎年6%以上のGDP成長率を誇り、北京、上海とともに中国経済を牽引していた深圳も2020年第一四半期は新型コロナウイルスの余波で思いもよぬマイナス成長となっている。創業者が多い深圳で、若手の創業社長達が口を揃えて言っているのは「今年は生き残ることだ」という言葉である。

一方、改革開放政策から40年、成長と繁栄を求めて走り続け、実は日本よりも赤裸々な資本主義であると言われている深圳で奮闘してきた人々は、今回のコロナショックでこれまでの生活スタイルを見直す動きも見せている。それが中国語で「慢生活」、つまり「スローライフ」である。

今まで経済的利益の追求、成功のために身を粉にする思いで、がむしゃらに働き続けたのも、立ち止まった瞬間に今の生活水準を保てなくなるかもしれないという不安と恐怖が牽引していたのかもしれない。それが自分の意思ではなく外的要因ではあるが、少し立ち止まってみたら、今まで見えなかったものが見え始めたところの人が

唯来企業管理諮詢(深圳)有限公司
副總經理

姜 香花

日本・中国専門の進出・撤退案件のエキスパート。
現在はクロスボーダーM&Aも手がけている。日
本人、中国人の気持ちを理解したコンサルティング
に定評。中国事業再編・M&Aサービス担当。



感じているようだ。ブランド物のバックがなくても生きられる(外出制限では不要となる)、高級な化粧品も不要(毎日マスク装着で化粧も不要)、外食を控えたら健康状態がよくなっている、荷物を整理してみたら不要なものが多いなど様々である。

特に心身の健康と地球環境への意識が高まっており、書店に並んだ本の中に、まさにそれを物語っている日本の書籍(中国語版)が目を引く。

料理研究家・土井善晴さんの「一汁一菜という提案」の中国語版であるが、その帯に書かれた「味覚の爆発(多様化)時代に、飲食の本質に戻る」と書かれた一行が心に響く。

また、沼畑直樹さんの「最小限主義」という本のタイトルは中国語で「極簡」という2文字で表現されている。近年中国でも大流行している「断捨離」に続き、常により良いもの、より新しいもの、より高いものを追い求めてきた人々の中に、逆にものを減らして節約することを美德とする考え方が増えてきていることを表している。

漫画「ネコノヒー」も、残念な猫がどうにもこうにも上手くいかない日常の中でサクセスを目指していることが、読むだけで癒やされるということで好評だ。

「スローライフ」は決して消極的な生き方を示しているわけではない。

シンプルで質素でも美しいという日本的な価値観が、生き方・生活スタイルにヒントを与えていることは間違いない。

日本も緊急事態宣言が出されて、心身とも疲れている人々が増えてきていると思うが、自分なりのスローライフを楽しんでみてはいかがでしょうか。

(レポートは2020年4月2日現在の情報)



深圳未来创新服務中心 MIRAI Innovation Center Shenzhen

深圳市南山区軟件產業基地5E棟522号 518061
TEL:86-135-3089-3085
<https://micsz.jp/>